

令和元年第4回

山都町議会定例会

提案理由説明書

令和元年12月5日

令和元年第4回定例会を招集しましたところ、御参集を賜り、誠にありがとうございます。

はじめに、9月定例会以降の町政等についてご報告申し上げます。

台風の襲来と豪雨は各地に大きな被害を与え、なかでも関東を中心に長野県から宮城県に及ぶ広範囲の河川堤防決壊による浸水や長期にわたる停電は住民生活に甚大な被害をもたらしました。

今回も行政による警戒情報や避難情報の出し方、一方で河川氾濫時における住民の車両による避難行動に課題があり、100名を超える尊い人命が奪われました。予想される自然災害での防災・減災そして住民避難について改めて問い直すことが急務となっています。

幸いに山都町では、台風や豪雨による大規模な被害の発生はありませんでしたが、想定を超える被害が発生する可能性があることを念頭に、土砂災害・浸水災害に対して行政機関と住民一体となった防災・減災に関する不断の備えが重要であると再認識いたしました。

先日実施いたしました防災訓練における課題等を検証しながら今後も継続的に取り組み地域防災力の向上に努めます。

一方、農作物においては、病害虫による水稻への被害が甚大で3割から4割の減収を余儀なくされた地域もありました。

また、主力のトマトをはじめとした夏秋野菜につきましても価格低迷等による影響があり大変厳しい結果となりましたが、今後も良質米生産地、そして九州における夏秋野菜の主要産地として、町経済を牽引する役割に期待をしています。

さて、11月に九州中央自動車道が災害復旧工事のため、10日間の上下線通行止めの措置がとられました。

多くの方々から電話等での問い合わせがあり、また、「行き来が不便でした」などの話も聞くなど、改めてこの道路の重要性を再確認された町民の方も多かったのではないかと思います。

矢部・蘇陽間についても、11月9日から道の駅などでオープンハウスが開催され、併せて住民向けのアンケート調査も始まりました。

皆様と共に一日も早い事業化に向け、関係自治体となお一層連携を深めながら、更なる要望活動等の強化と充実を図ります。

また、数年後の矢部インター開通を見据えた「まちづくり」は、待ったなしです。

官民一体となった取り組みの実現に向けて邁進していきます。

ところで、8月下旬の日米共同訓練、11月上旬の自衛隊の夜間演習など、大矢野原演習場での大規模な演習や夜間の飛行訓練等が実施されていますが、関係者からの情報提供が訓練開始直前であり、住民の皆様に変なご心配とご苦勞をおかけする状況が続きましたので、先日、九州防衛局に対しまして、関係者の皆様と一緒に強く抗議し、早期の情報提供と安全確保などに関する申し入れを行いました。

今後も、地域の皆様と連携を密にし、情報の収集及び早期の周知並びに民生の安定確保に努めて参ります。

最後に、熊本地震と豪雨災害からの復旧復興につきましては、引き続き町政の最重要課題として取り組んでいます。

町外業者による工事の受注や熊本県への工事委託など、少しずつ進んでいるところですが、今後も国や県の関係機関への働きかけを行うとともに、地元企業の皆様と一丸となって取り組んで参りますので、町民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次に、今定例会に提案しております議案について、ご説明いたします。

今回の定例会に提出する議案は12件で、条例4件、補正予算6件及びその他2件です。

議案第53号から第56号は、それぞれ必要な条例の制定や一部を改正するものです。

議案第57号から第62号は、令和元年度における一般会計及び特別会計並びに事業会計の補正予算に関するものです。

議案第63号は、町道の認定に関するもので、第64号は、町が加入しております一部事務組合の規約等の変更に関するものです。

以上、提案理由について説明いたしました。

詳細については、担当課長から説明させますので、適切にご決定をいただきますようお願いいたします。